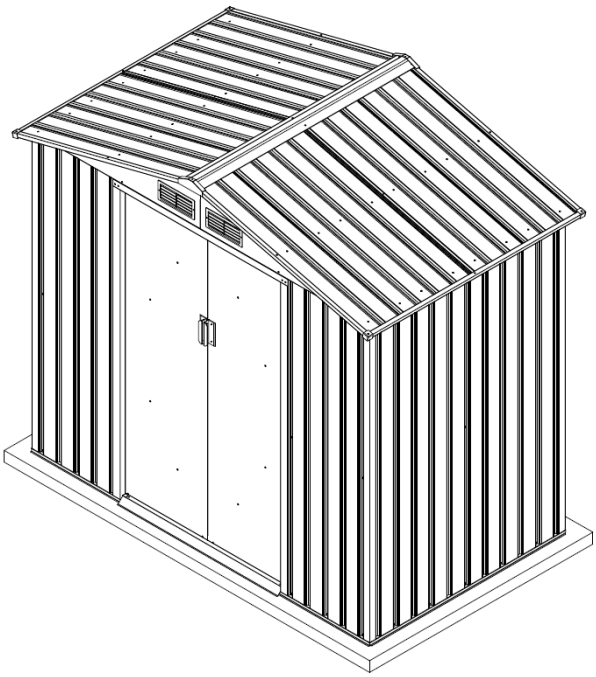
Liebe Co.,Ltd.

品番:12078690-001
品名:メタルシェッド　001　ライトグリーン＆ベージュ

品番:12078690-002
品名:メタルシェッド　002　ダークグレー＆ベージュ

取扱説明書



サイズ
間口:2.13m
奥行:1.27m
高さ:1.95m

この度は当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をお読みください。

ご注意事項

安全のために、ご使用の際は下記の点に注意してください。

- 組立の際は、本取扱説明書を最後まで読んで、手順通りに組み立ててください。
- 梱包を丁寧に開封して、部材リストを見ながら材料が揃っているか確認してください。
- 完成した倉庫はアンカー固定を推奨いたします。
  アンカーボルトは付属品に含まれておりませんので、別途ご用意下さい。
- 組立時の設置場所はコンクリートや舗装スラブを水平にしてください。
- コンクリートで基礎を作る場合、凸型で作成してください。雨水などの浸入を防ぎます。

組み立て上の注意

- 水平な場所で必ず組み立ててください。
- 組立の際には周りに十分なスペースを空けてください。作業がスムーズに行えます。
- アルミ素材は柔らかく風などで飛んだり、施工時に影響を受けやすい為、少しでも風のある日は安全のため作業を避けてください。
- パネルなどの部材は、鋭利な部分がありますので、作業時に手袋を着用してください。
- 穴を開ける際は安全のため防護眼鏡を着用してください。
- 安全、動きやすい服装で組立作業をしてください。
- 組立は必ず2人以上で行ってください。

使用上の注意

- 屋根の上は定期的にメンテナンスを行ってください。特に積雪等で屋根に加重がかかると破損の原因になります。
- 沿岸部での使用につきましては、錆が発生する可能性がございます。
- 底板（床）は付属しておりません。デッキ材やレンガ等で床をご用意ください。
  床用素材が必要な場合は当社でも取り扱っておりますので、ご相談ください。
- 風が強い時は開閉に注意し、扉は使用時以外は閉めてください。破損の原因になります。
- ビスやボルトなど定期的に緩みを確認し、必要があれば締めなおしてください。
- パネルのパーツナンバーは水と洗剤で洗い流せます。
- 防水の対策としてシリコンコーキングが可能です。

ご用意いただく用具

手袋

電動ドライバー

プラスドライバー

ドリルビット

脚立

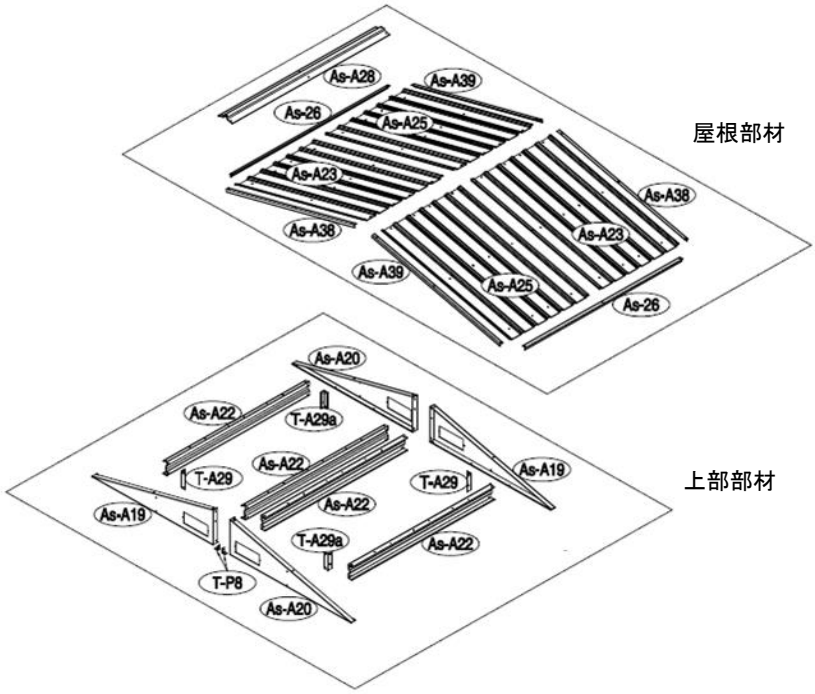
部材リスト

すべて揃っているか必ずチェックしてください。

番号	商品イメージ	サイズ(mm)	数量
基礎部材			
Bs-A1		1055	x1
Bs-A2		1074	x1
Bs-A3		1174	x2
Bs-A4		590	x1
Bs-A5		590	x1
Bs-A6		958	x1
側面部材			
Bs-A7		1648	x2
Bs-8		1648	x4
Bs-14		1648	x3
Bs-A9		995	x1
Bs-A10		995	x1
Bs-A11		873	x1
Bs-A12		1190	x1
As-A13		1168	x2
Bs-16		1648	x1
Bs-17		1648	x1
Bs-A18		1044	x1
上部部材			
As-A19		995	x2
As-A20		995	x2
As-A22		1174	x4
T-A29		120	x2
T-A29a		120	x2
屋根部材			
As-A23		1090	x2
As-A25		1090	x2
As-26		1296	x2
As-A38		1088	x2
As-A39		1088	x2
As-A28		1298	x1
ドア部材			
As-A30		1643	x1
As-A35		1643	x1

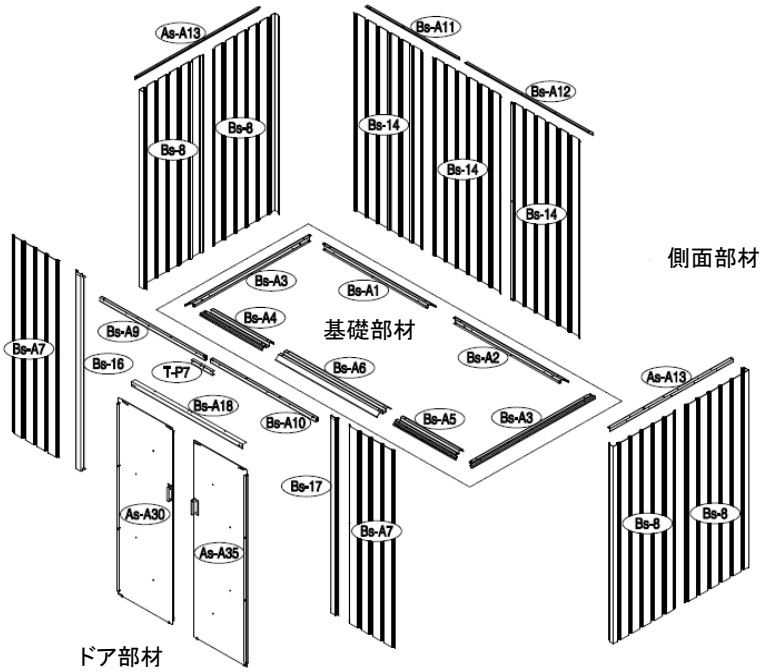
番号	商品イメージ	サイズ(mm)	数量
Ts-31		1583	x2
Bs-A32		919	x4
Bs-A33		486	x1
Bs-A34		486	x1
Bs-A36		486	x1
Bs-A37		486	x1
部材			
T-P1			x4
T-P2			x4
T-P3			x4
T-P4			x2
TP5A			x4
T-P6			x2
T-P7		200	x1
T-P8			x2
As-A40			x142
As-A41		ST4x10	x186
As-A42		ST4x16	x16
As-A43		M4x10	x66
As-A44			x56
V-A1		1024	x5
V-A2		512	x2

部材図面



屋根部材

上部部材



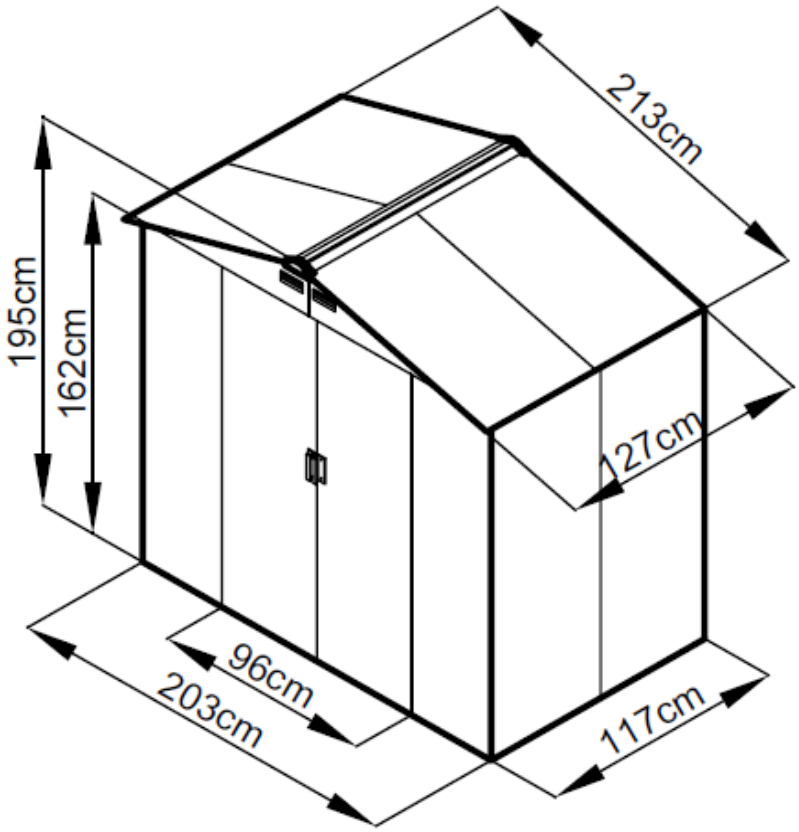
側面部材

ドア部材

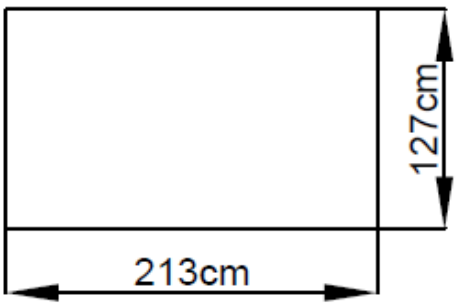
※基礎部材の骨組みは未記載です。

完成図面

正面図

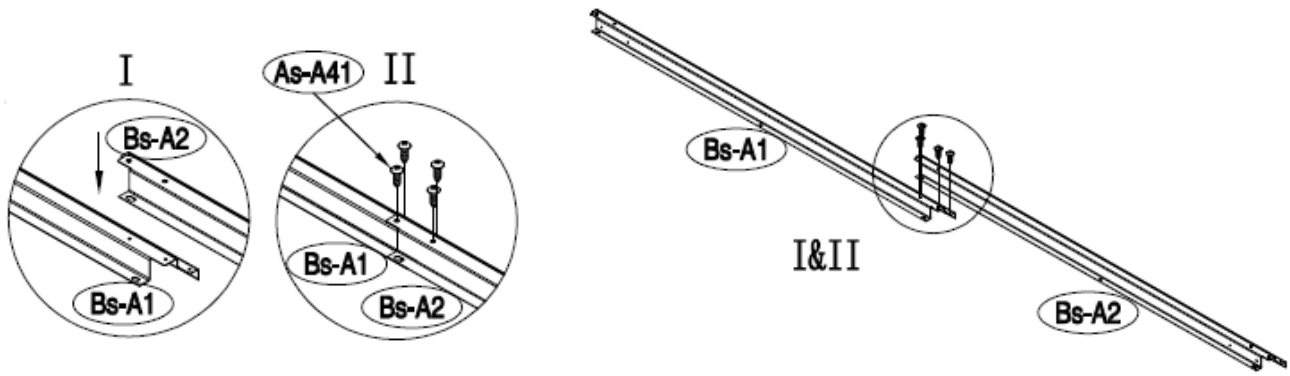


設置必要面積



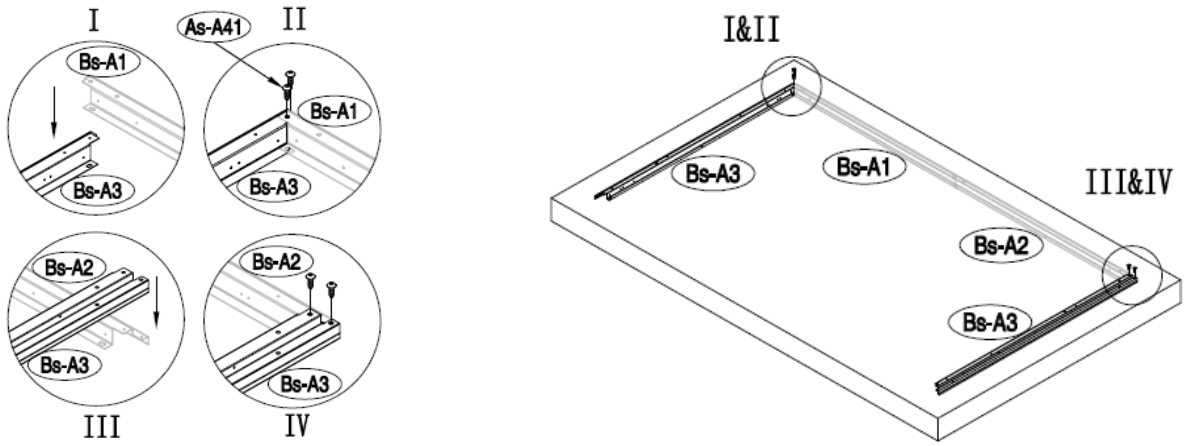
組み立て方法

1



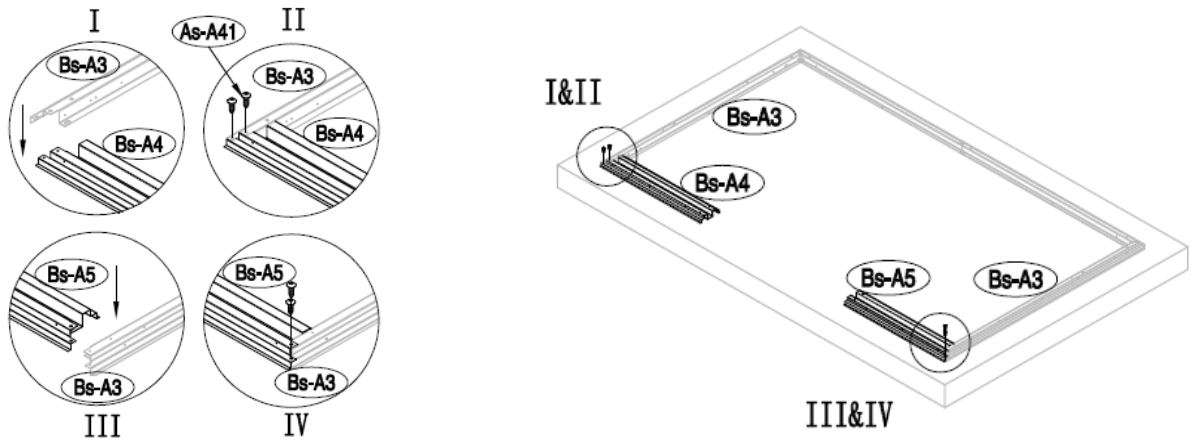
図のように、Bs−A1とBs−A2をAs−A41で接続します。

2



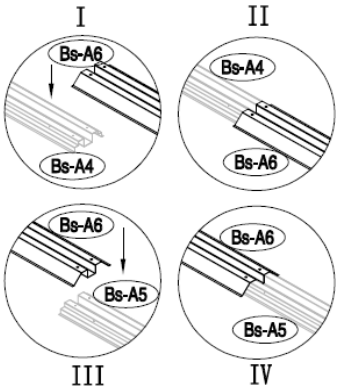
1で作成したものにBs−A3　2本をAs−A41で接続します。

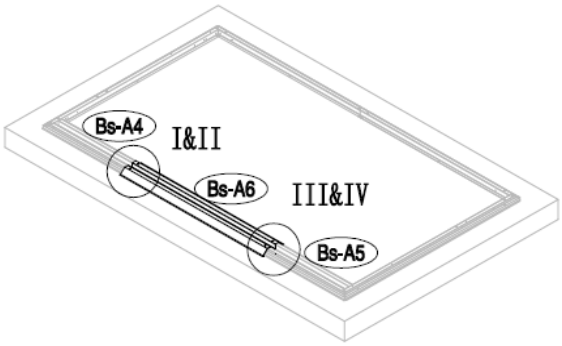
3



2で作成したものにBs−A4　Bs−A5をAs−A41で接続します。

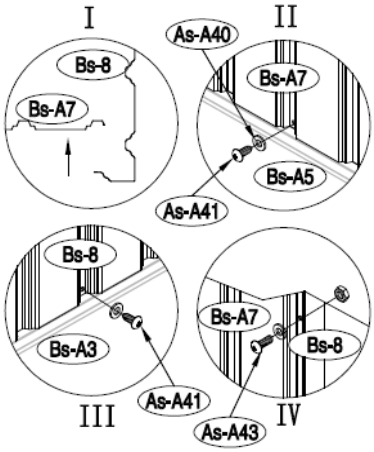
4

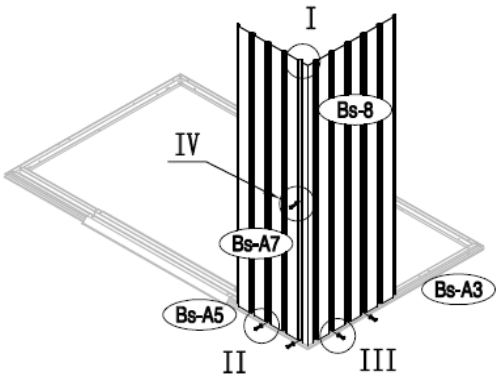




3で作成したものにBs−A6を仮置きします。基礎部分の完成です。
※Bs−A6は手順17で接続します。

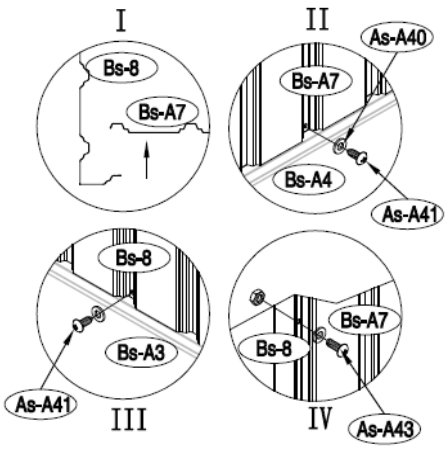
5

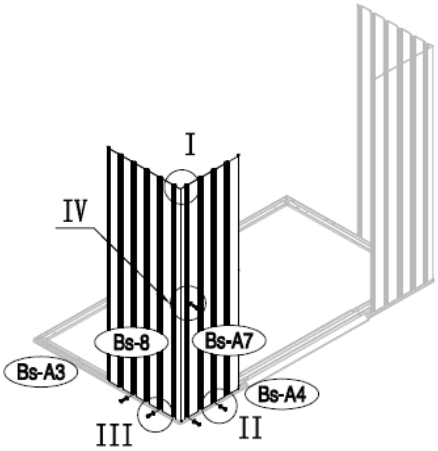




4で作成した基礎にBs−A7、Bs−8をAs−A41、As−A40で接続します。またBs−A7、Bs−8をAs−A43、As−A40で接続します。接続位置は上記の図Ⅰを確認して接続してください。

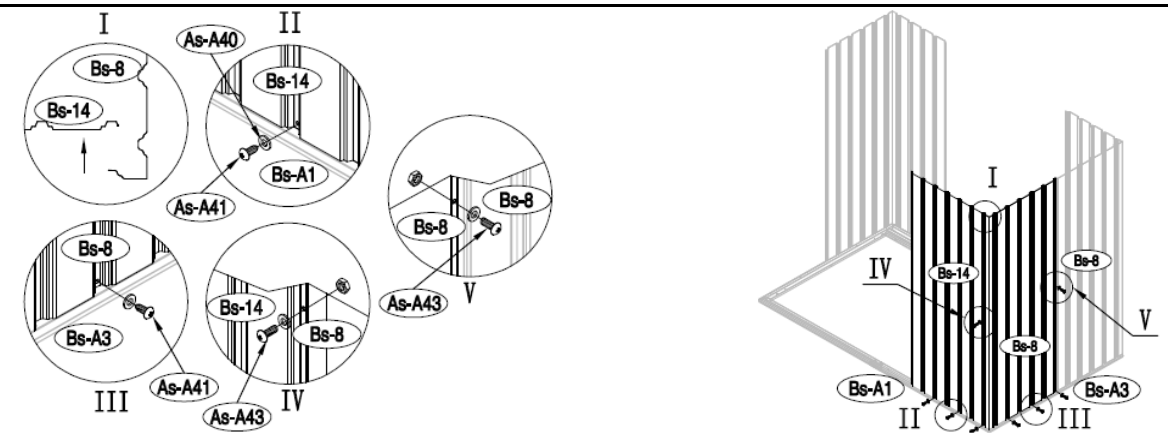
6





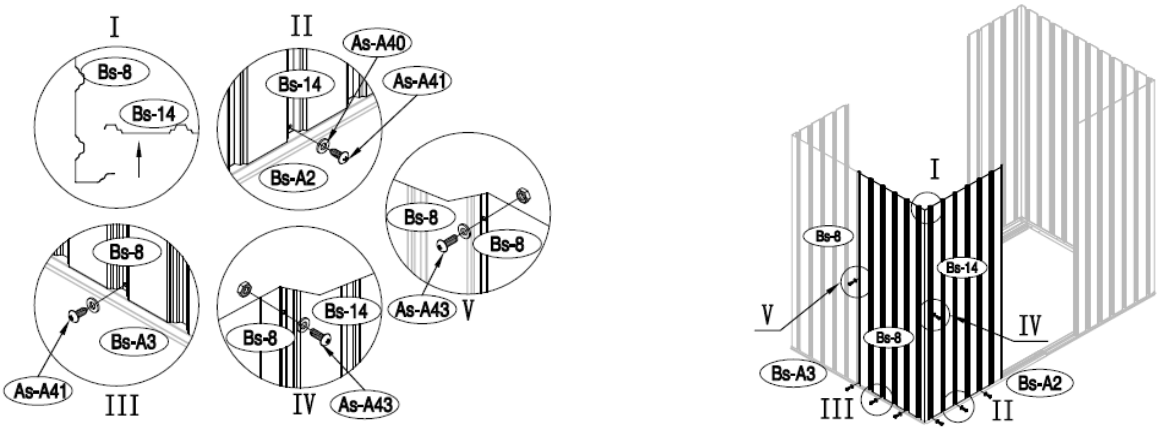
5と同様に基礎の左側にもBs−A7、Bs−8をAs−A41、As−A40で接続します。またBs−A7、Bs−8をAs−A43、As−A40で接続します。接続位置は上記の図Ⅰを確認して接続してください。

7



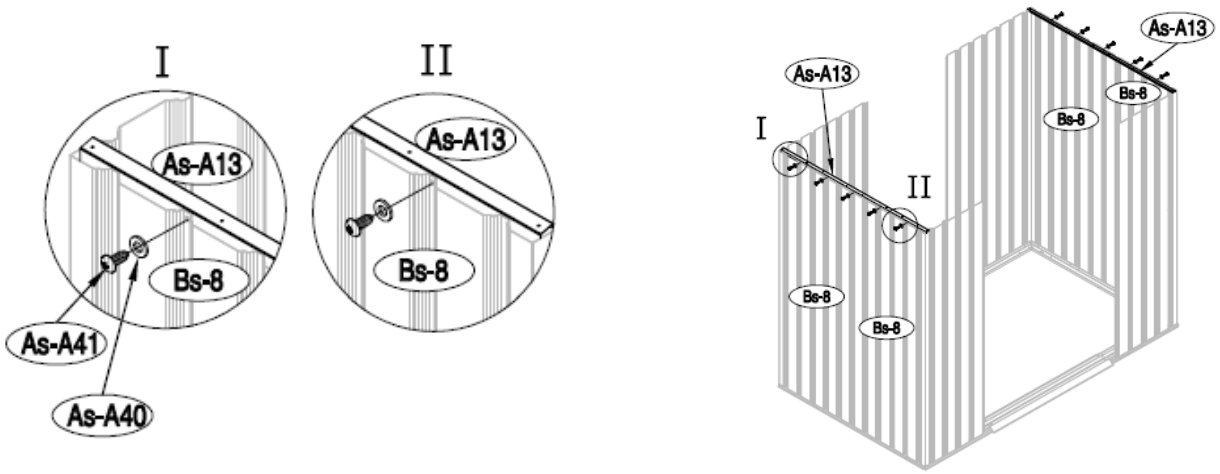
基礎の裏側にもBs−14、Bs−8をAs−A41、As−A40で接続します。またBs−14、Bs−8をAs−A43、As−A40で接続します。接続位置は
上記の図Ⅰを確認して接続してください。

8



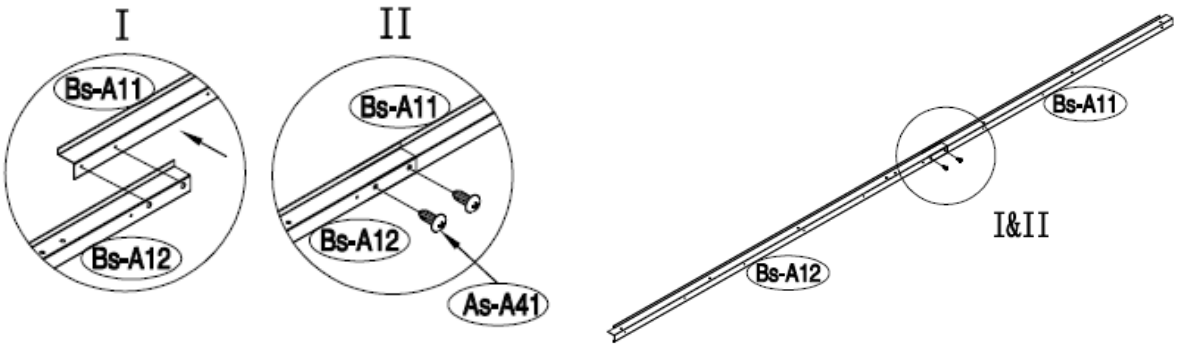
7の逆側にもBs−14、Bs−8をAs−A41、As−A40で接続します。またBs−14、Bs−8をAs−A43、As−A40で接続します。接続位置は
上記の図Ⅰを確認して接続してください。

9



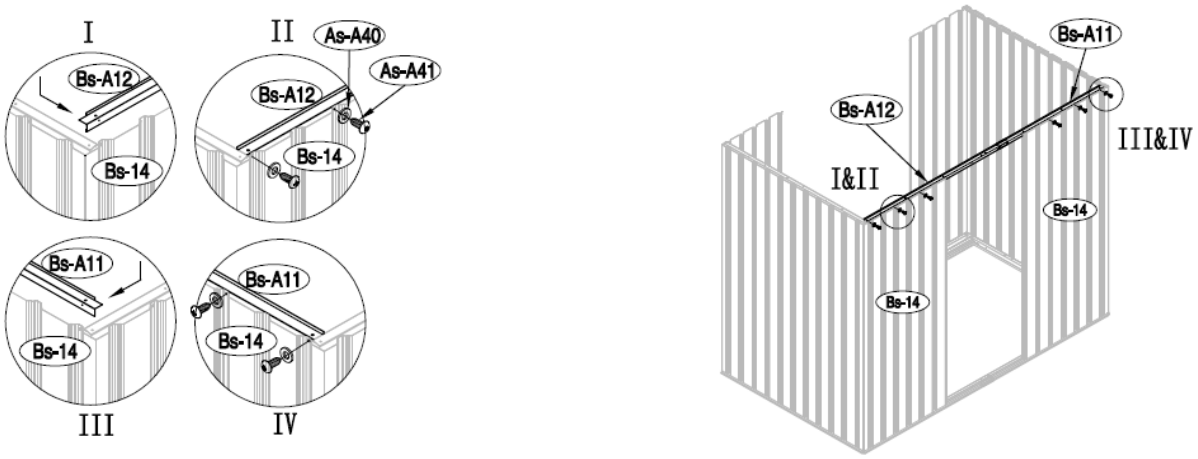
8で作成したものに、図のようにAs−A13をAs−A41、As−A40で左右接続します。

10



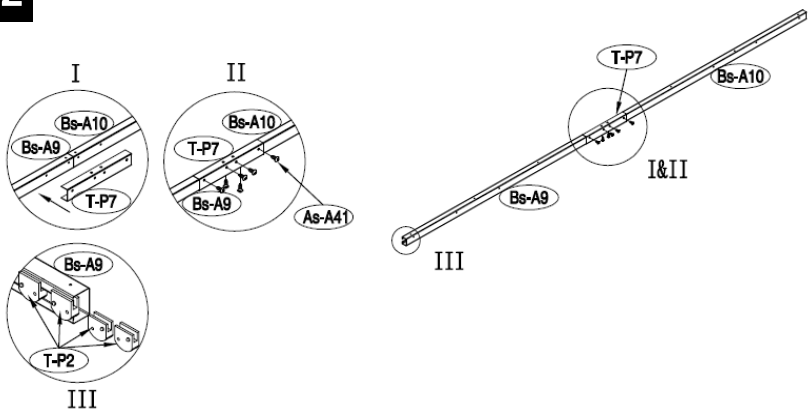
図のようにBs−A11、Bs−A12をAs−A41で接続します。

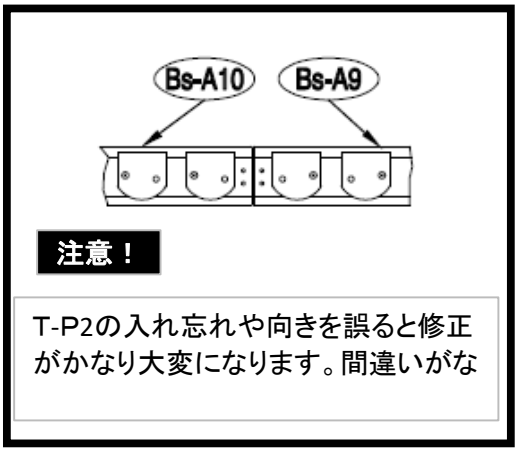
11



10で作成したものを図のようにAs−A41、As−A40で接続します。

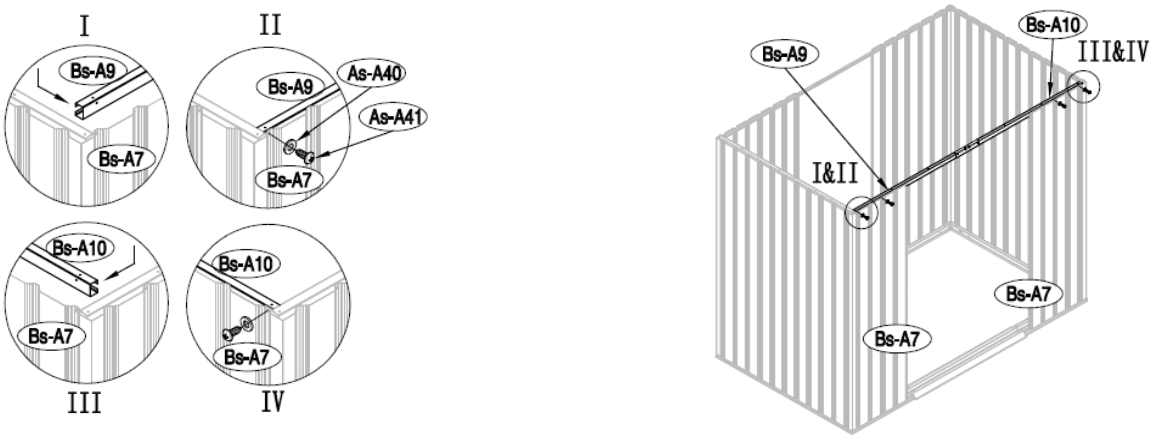
12





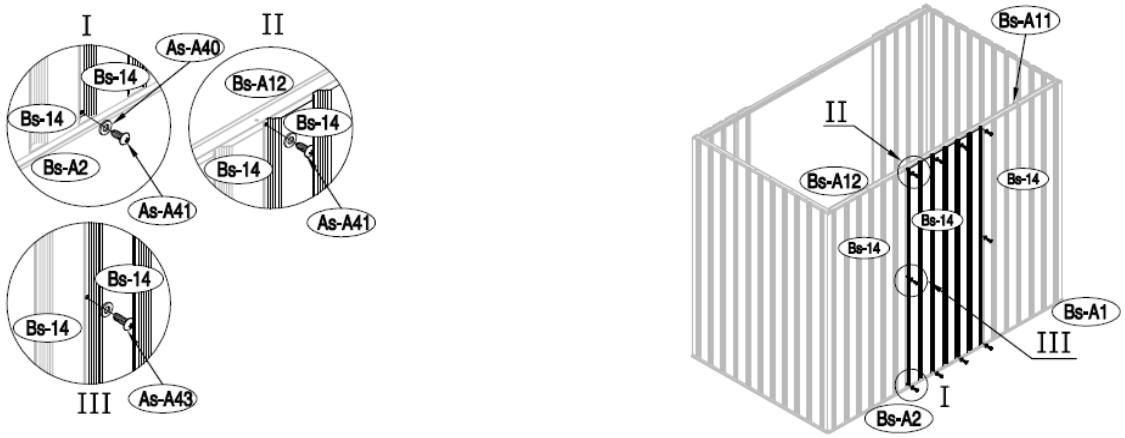
図のようにBs−A9、Bs−A10にT−P7をつけ、As−A41で接続します。また図Ⅲを参考にT−P2を入れていきます。向き、位置に注意しながらT−P2をいれてください。

13



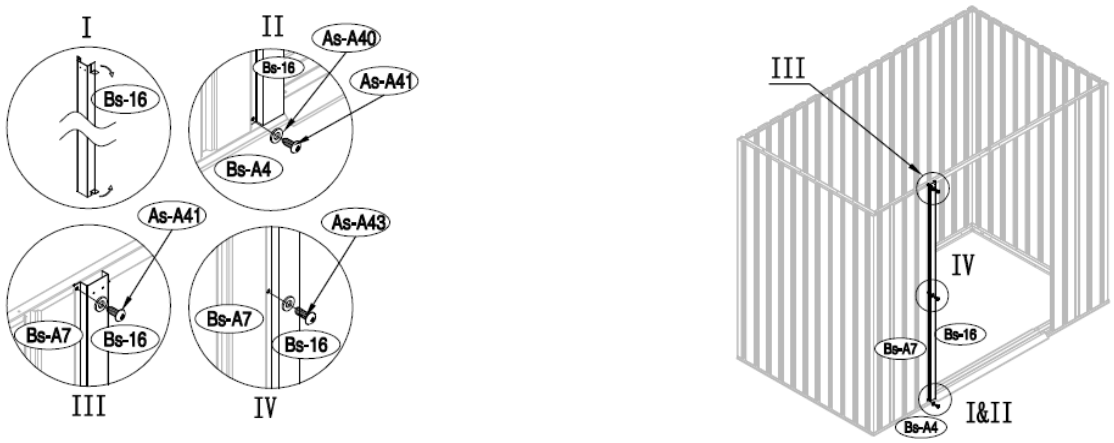
12で作成したものを図のようにAs−A41、As−A40で接続します。

14



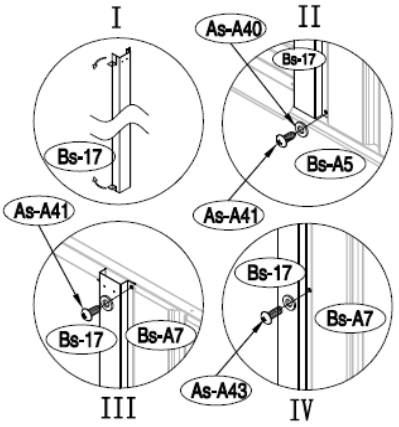
11で作成したものに図のようにBs−14をAs−A41、As−A40とAs−A43、As−A40で接続します。

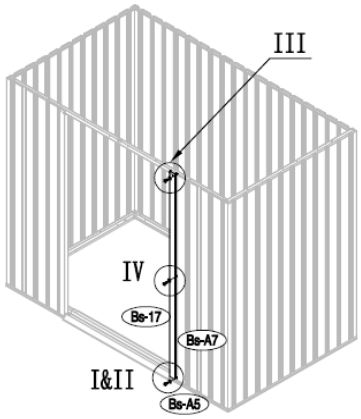
15



ここから扉部分を作成します。図のようにBs−16ををAs−A41、As−A40とAs−A43、As−A40で接続します。
Bs−16の接続位置は図Ｉを確認してください。

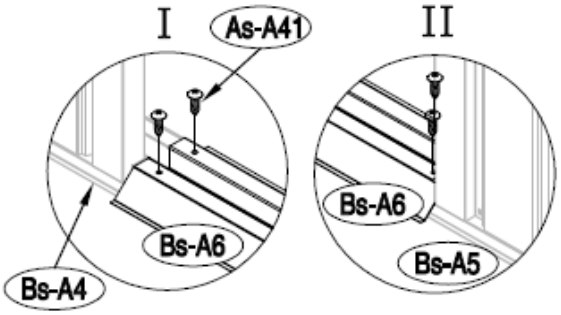
16

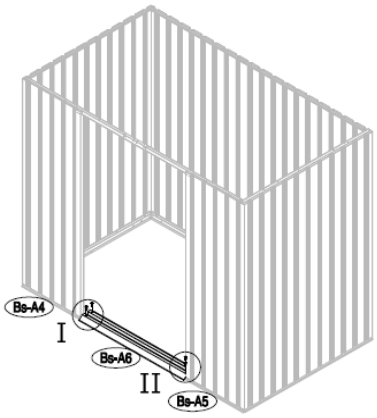




同じように、右側も作成します。図のようにBs−17をAs−A41、As−A40とAs−A43、As−A40で接続します。
Bs−17の接続位置は図Ⅰを確認してください。

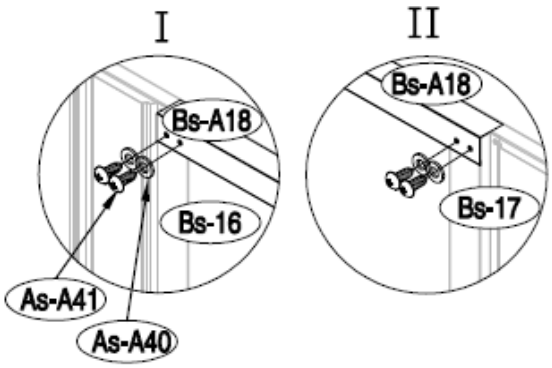
17

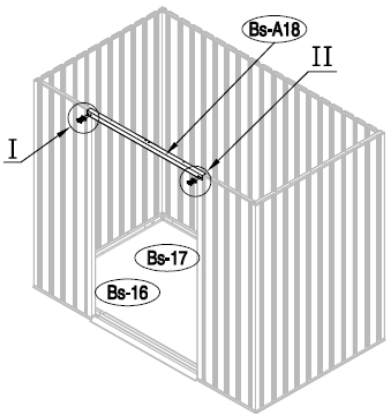




4で仮置きしたBs−A6をAs−A41で接続します。

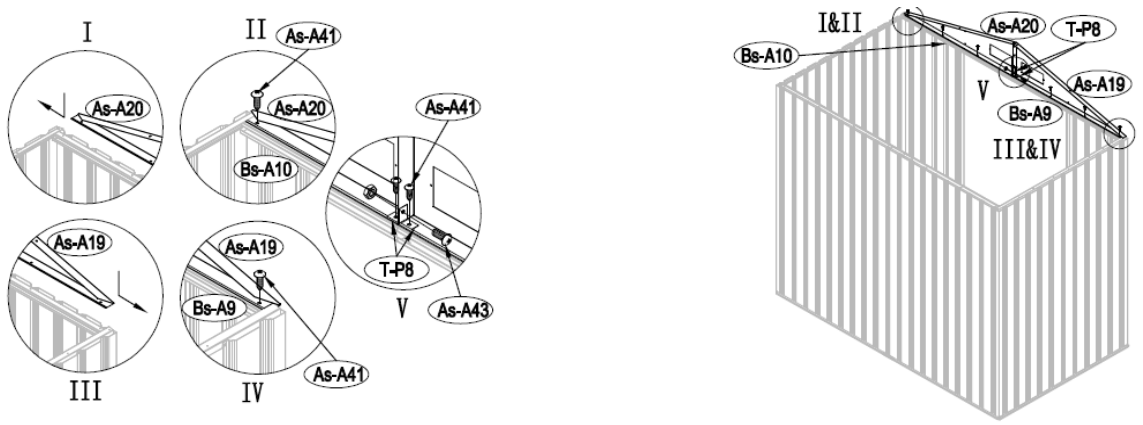
18





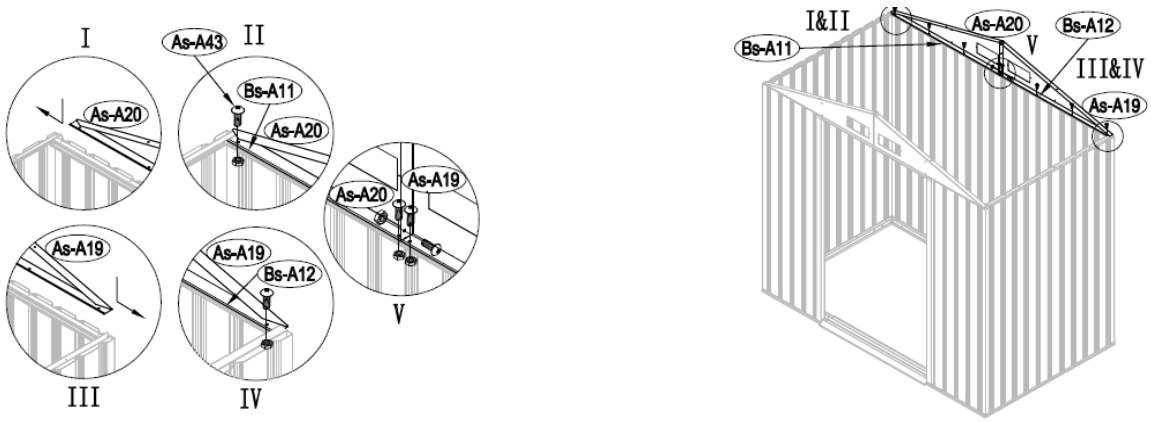
Bs−A18を図のようにAs−A41、As−A40で接続します。

19



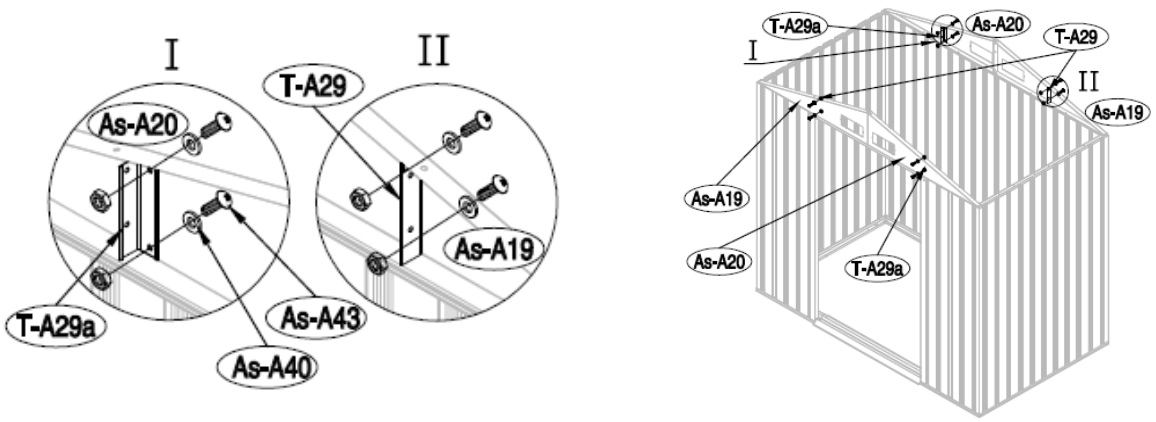
図のように18で作成したものにAs−A19とAs−A20をAs−A41で接続します。またAs−A19、As−A20にT−P8をつけAs−A43で
接続します。

20



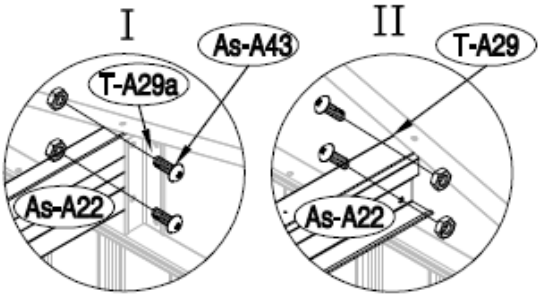
後ろ側も同様に、図のように18で作成したものにAs−A19とAs−A20をAs−A43で接続します。またAs−A19、As−A20をAs−A43で
接続します。

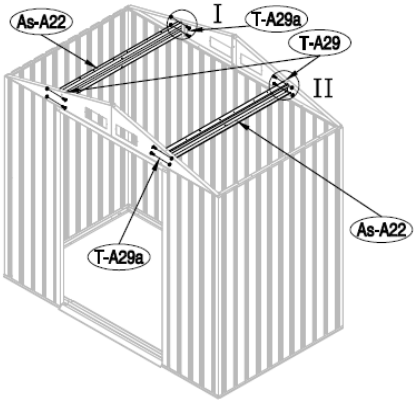
21



図のようにT−A29をAs−A43、As−A40で接続します。

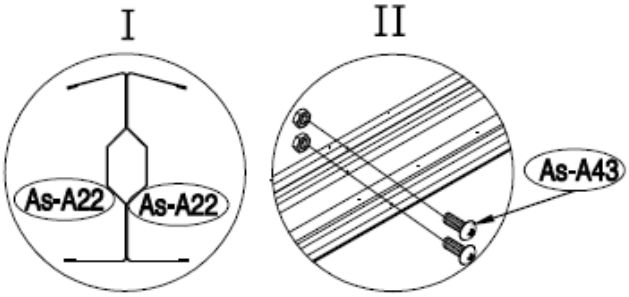
22

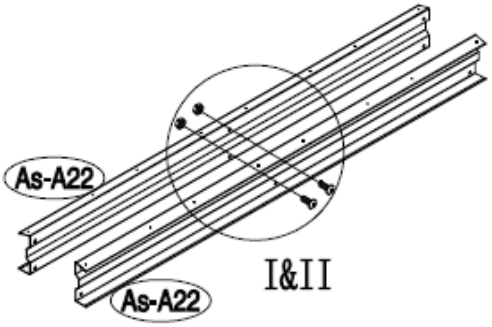




As−A22を図のようにAs−A43で接続します。

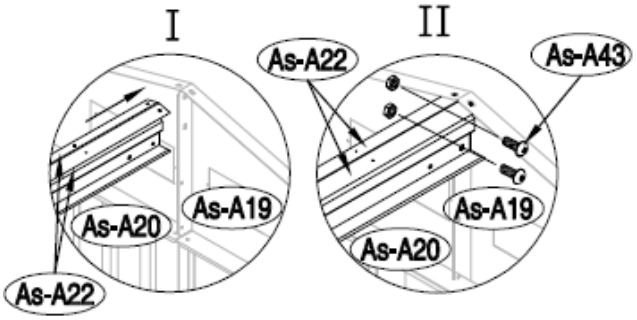
23

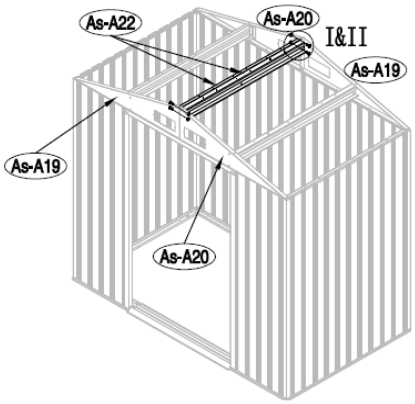




As−A22を2つ図Ⅰのように合わせます。As−A43で図Ⅱのように接続します。

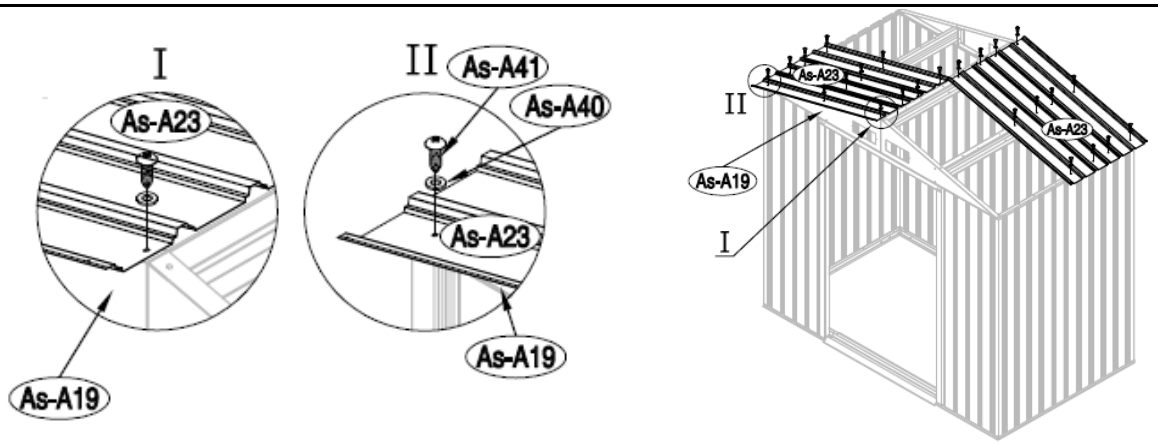
24





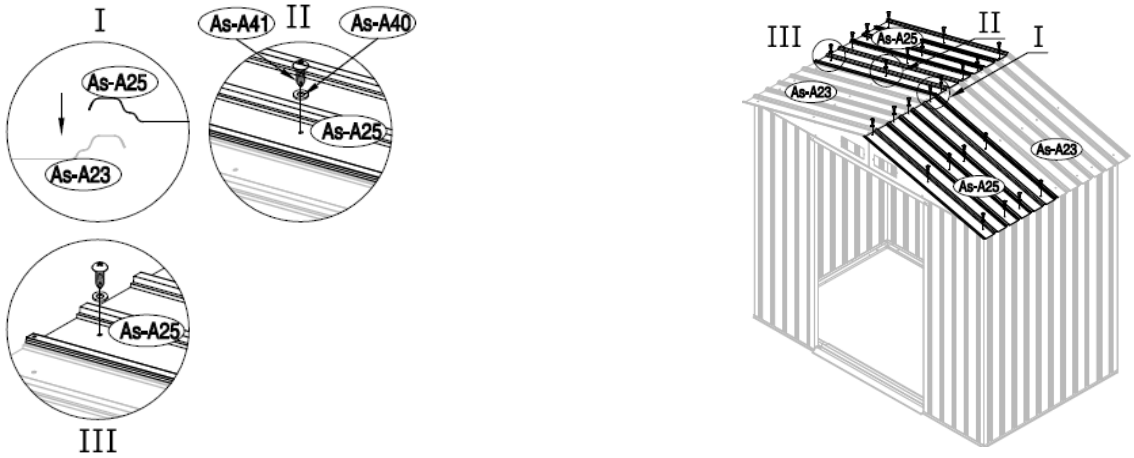
23で作成したものを図のようにAs−A43で接続します。

25



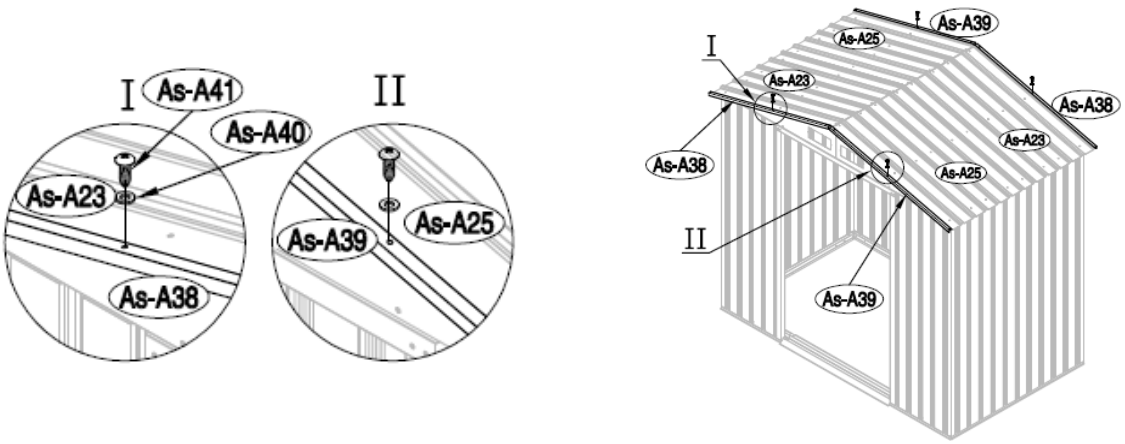
As−A23をAs−A41、As−A40で接続します。
※26のAs−A25と接続位置に注意して接続してください。

26



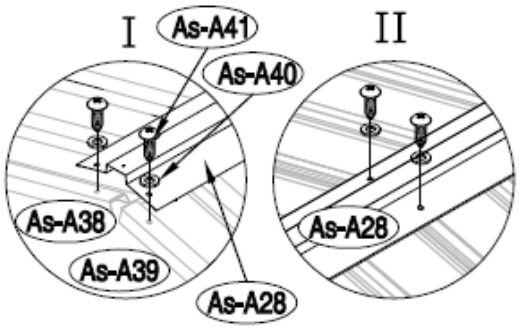
As−A25をAs−A41、As−A40で接続します。
※25のAs−A23と接続位置に注意して接続してください。（図Ｉを参照）

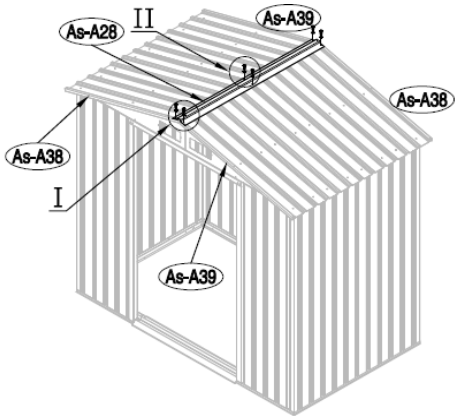
27



図のようにAs−A38、As−A39をAs−A41、As−A40で接続します。
※表と裏で取り付け位置が異なるので注意して接続してください。

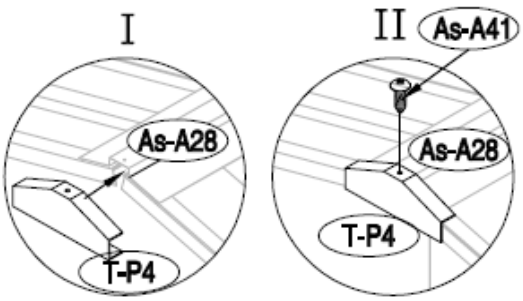
28

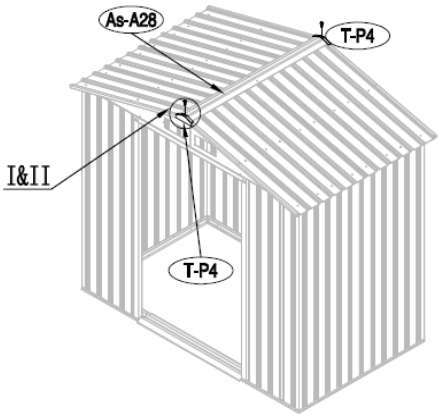




図のようにAs−A28をAs−A41、As−A40で接続します。

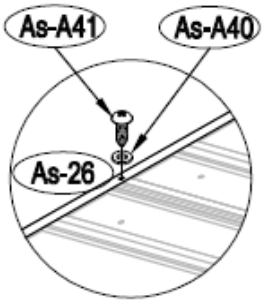
29

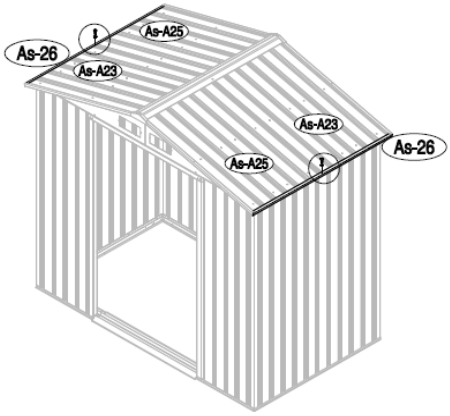




図のようにT−P4をAs−A41で接続してください。

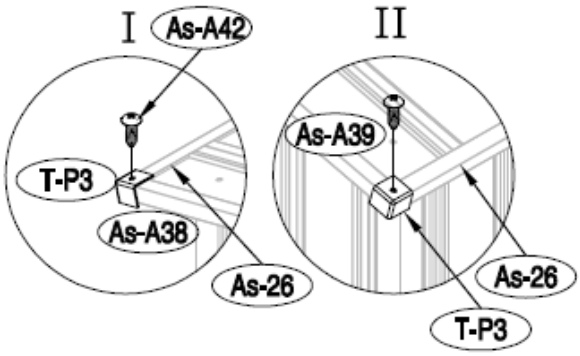
30

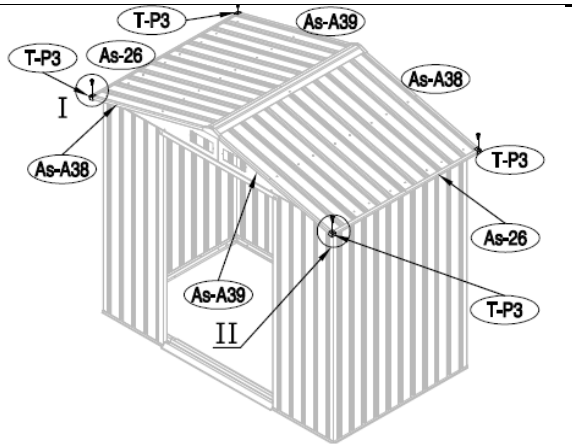




図のようにAs−26をAs−A41、As−A40で接続してください。

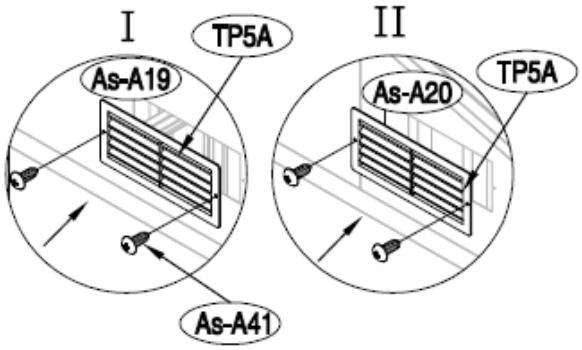
31

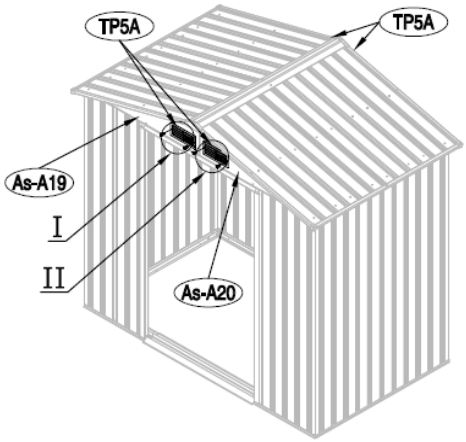




T-P3を屋根の隅4箇所にAs-A42で接続してください。

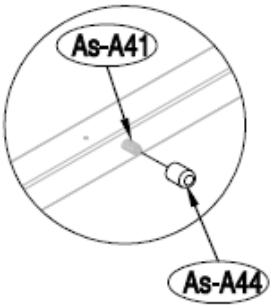
32

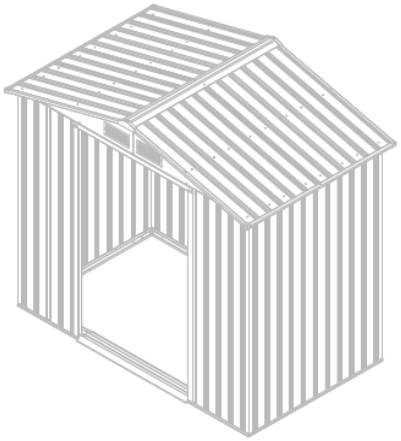




TP5Aを図のようにAs-A41で接続してください。

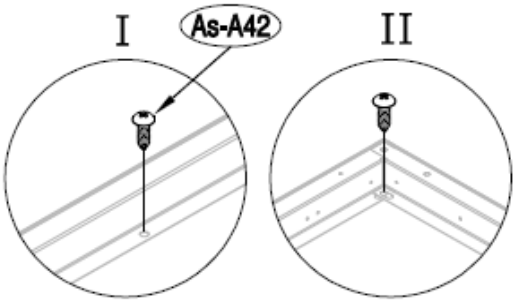
33

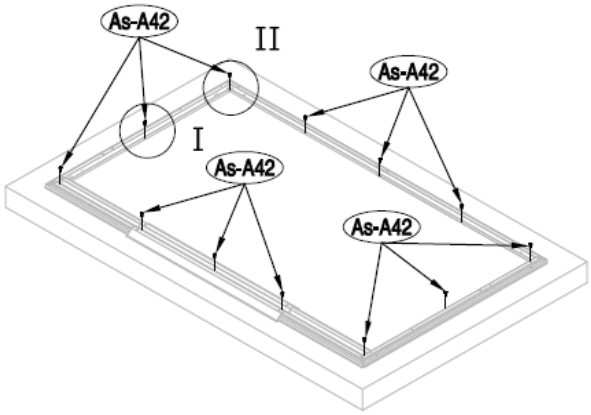




As-A41のビス部分にAs-A44を設置してください。

34

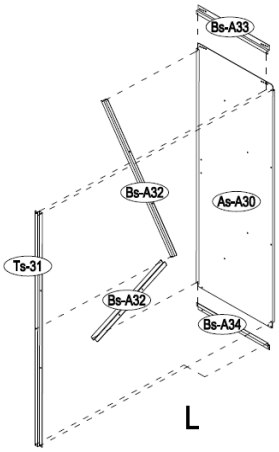


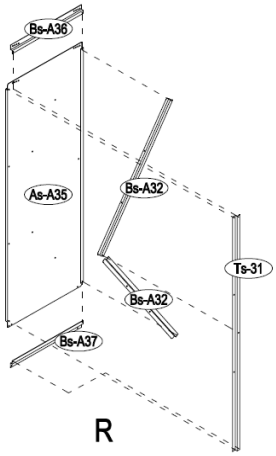


基礎部分の固定は図のようにしてAs−A42で固定してください。

※ビスでの固定は土台部分が木材の場合に限ります。コンクリートの場合はアンカーを使用してください。
アンカーは別途お買い求めください。

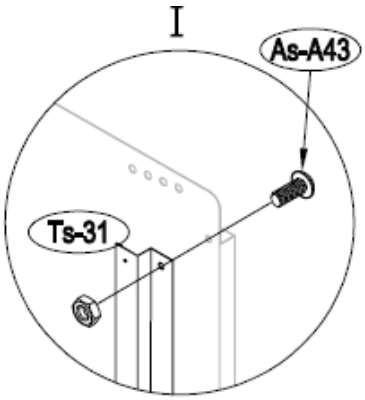
35

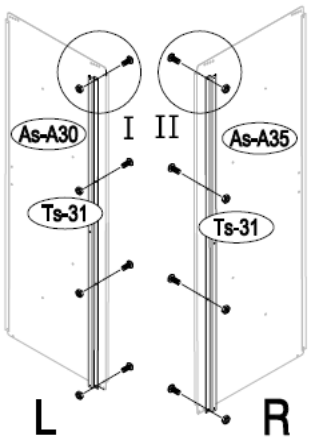


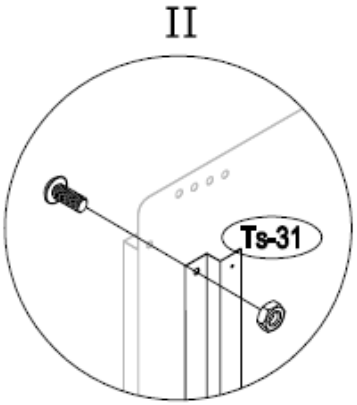


次に扉を作成します。まず、部材を準備します。
左側：As−A30、Bs−A32　2本、Bs−A33、Bs−A34、Ts−31
右側：As−A35、Bs−A32　2本、Bs−A36、Bs−A37、Ts−31

36

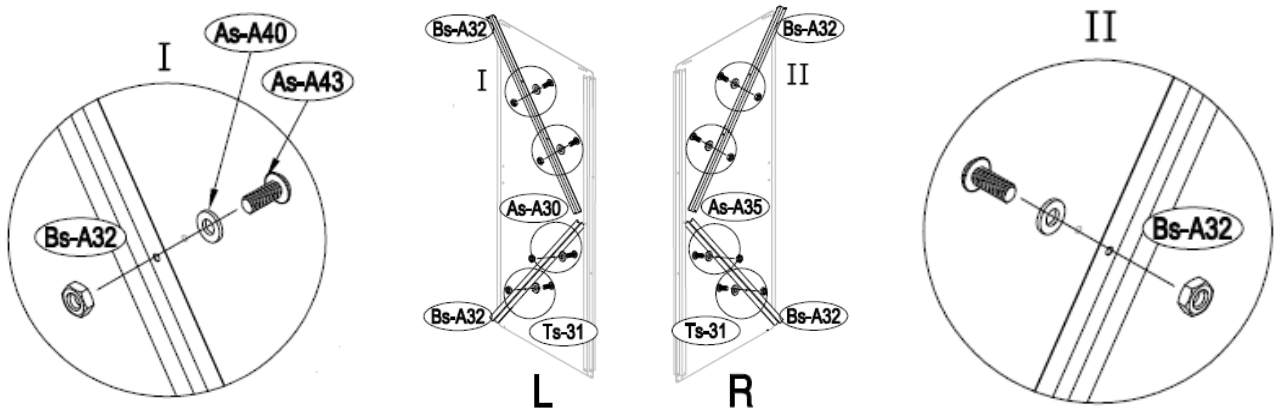






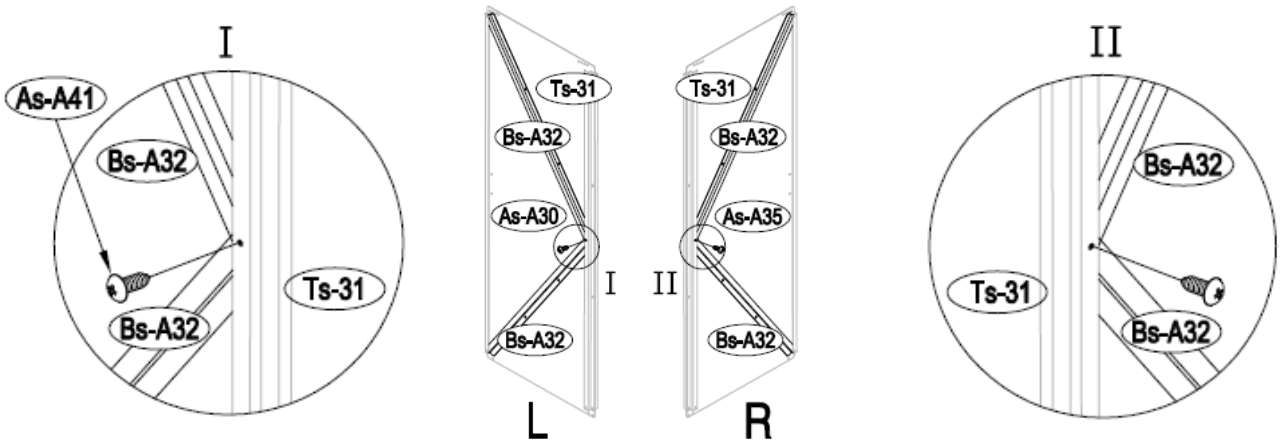
35で準備したAs−A30、As−A35にTs−31をAs−A43で接続します。

37



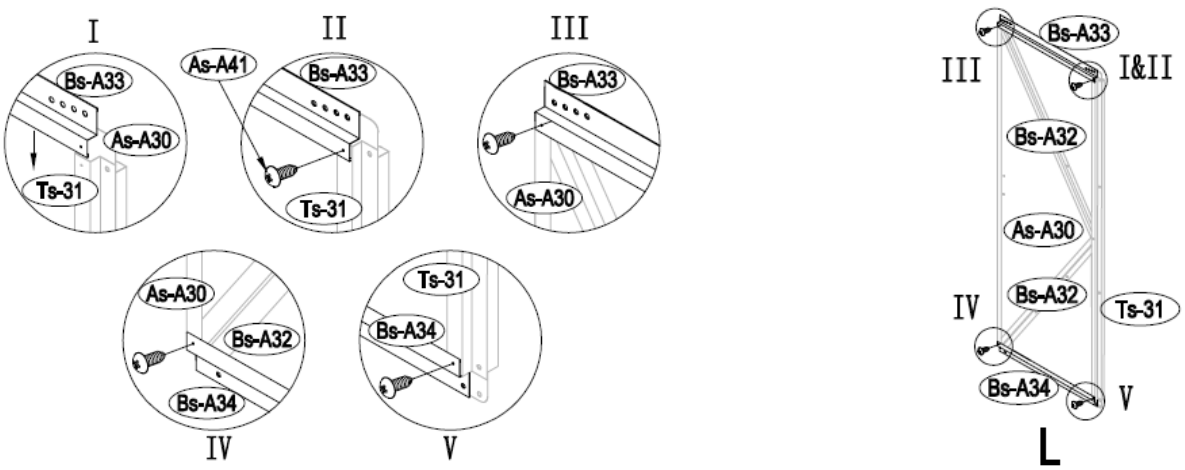
As-A30、As-A35にBs-A32 2本をAs-A43、As-A40で接続します。

38



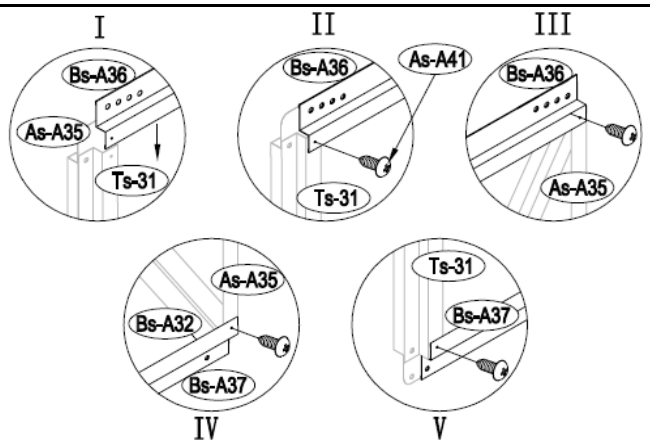
As-A30、As-A35のTs-31とBs-A32 2本をAs-A41で接続します。

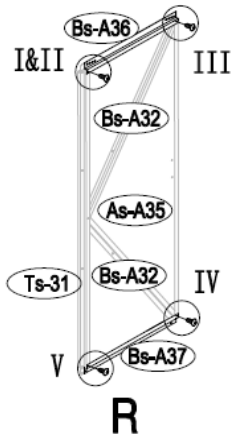
39



As-A30にBs-A33とBs-A34をAs-A41で接続します。

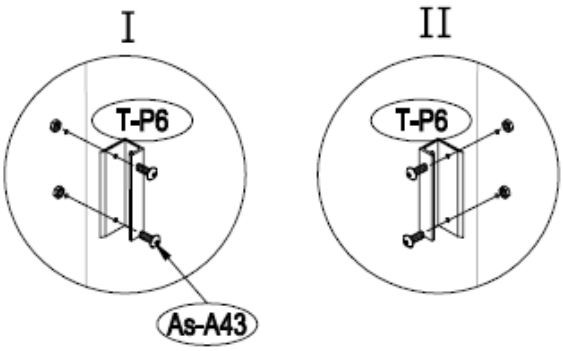
40

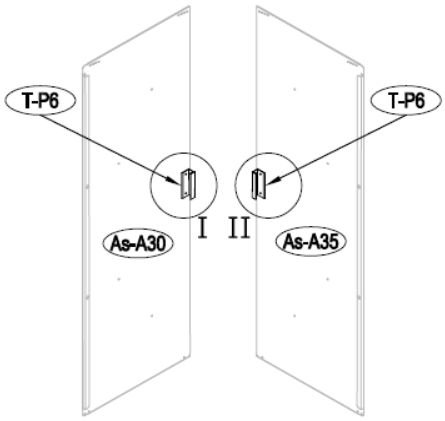




As−A35にBs−A36とBs−A37をAs−A41で接続します。

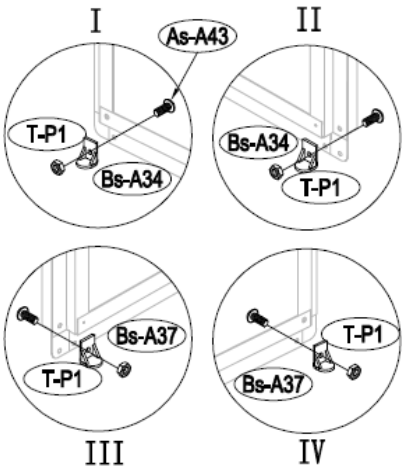
41

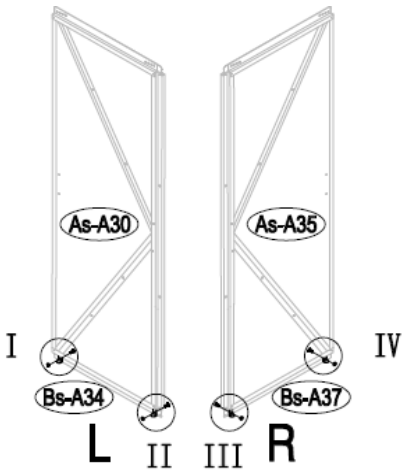




As−A30、As−A35にT−P6をAs−A43で接続します。

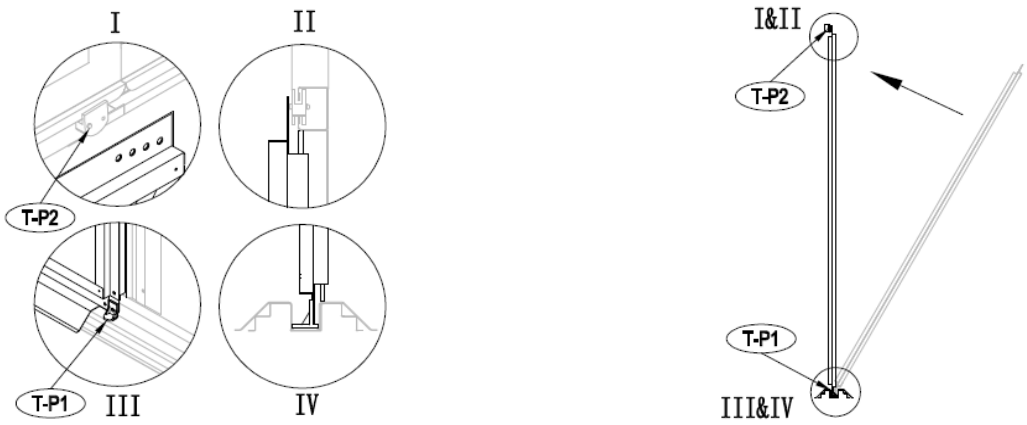
42





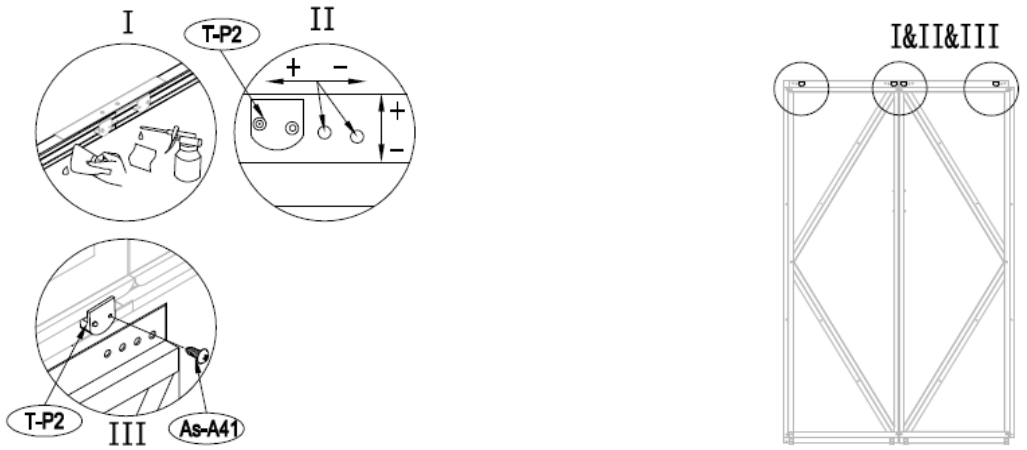
As−A30、As−A35にT−P1をAs−A43で接続します。

43



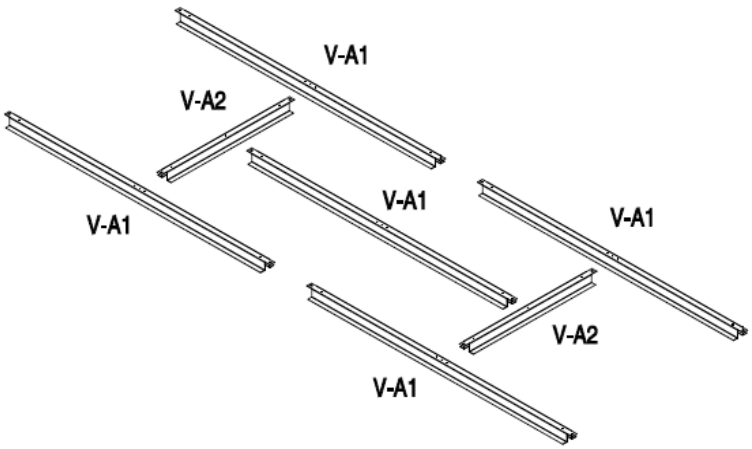
扉を設置します。T−P１部分を図Ⅲ、Ⅳのように接続してから図Ⅰ、ⅡのようにT−P2を接続します。これを右、左どちらも行います。

44



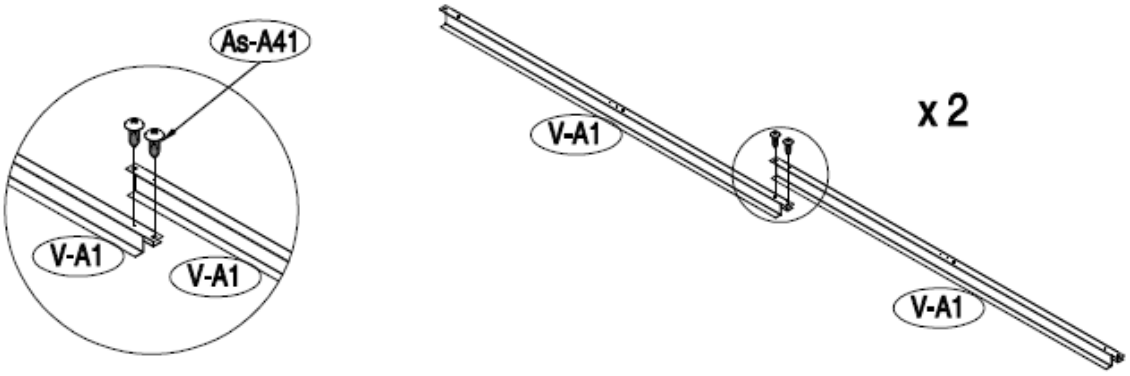
Ⅰの図のようにレール部分によく油をさし、T−P2を図Ⅰ、Ⅱ、ⅢのようにAs−A41で接続します。

45



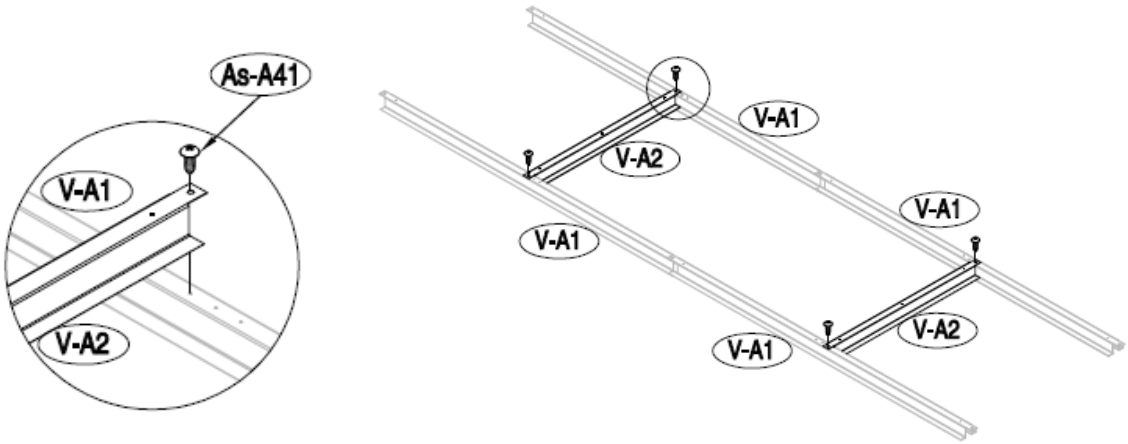
最後に基礎の骨組み部分を作成します。
図のように部材を並べます。

46



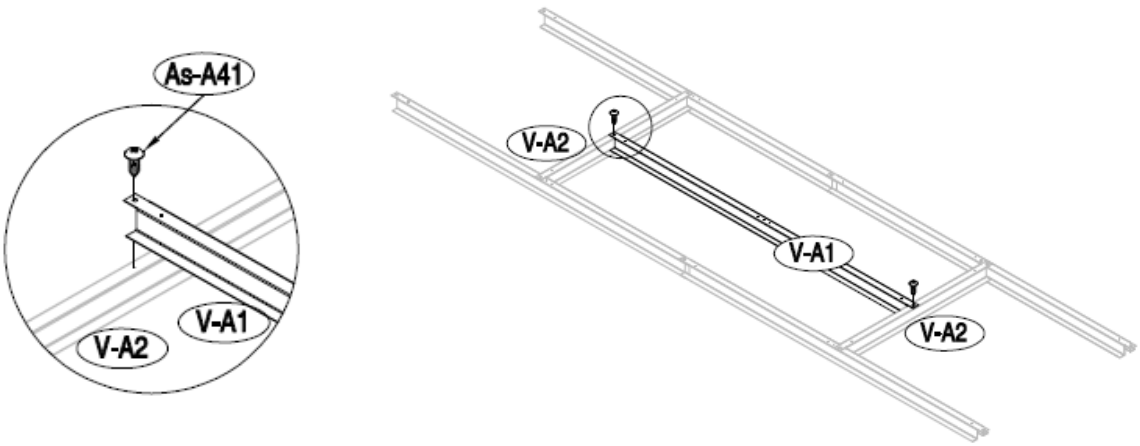
V−A1を2つAs−A41で連結します。

47



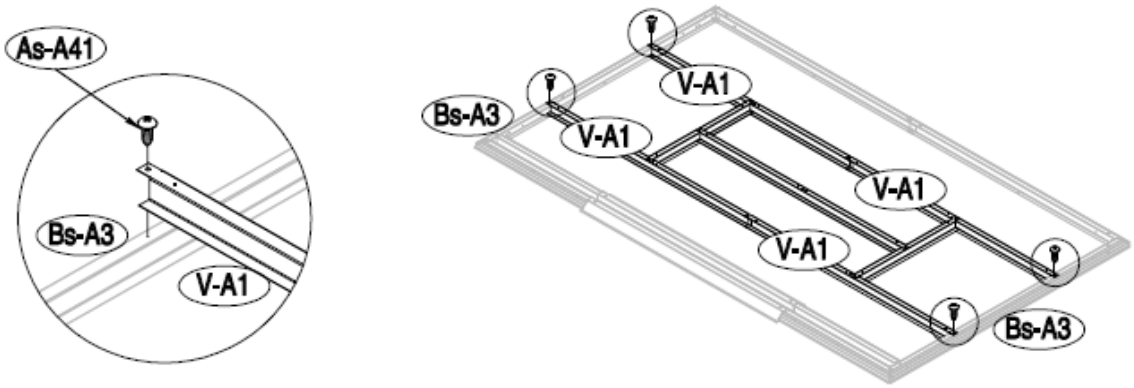
46で作成したものにV−A2を2つAs−A41で連結します。

48



47で作成したものにV−A1をAs−A41で連結します。

49



48で作成した骨組みを本体の基礎部分にAs−A41で連結して、完成です。